



統括センター・営業統括センターの設立(第3期)について 提案を受けました

首都圏本部より「統括センター・営業統括センターの設立(第3期)の詳細について提案を受けました。首都圏本部初の統括センター設立でもあるため、関係職場の組合員と議論しながら進めていきます。

1. 実施内容

田端統括センター、大田営業統括センター、大崎営業統括センター、渋谷営業統括センター、御茶ノ水営業統括センター、北千住営業統括センター、柏営業統括センターを設立する。

2. 実施日

2023年6月1日。

3. 体制について

別紙のとおりとする。

4. その他

施策実施に向けて教育。訓練等の必要な準備を進めていく。

「(仮称)蒲田営業統括センター」の正式名称を「太田営業統括センター」とする。

田端統括センター→田端駅、尾久駅、日暮里駅、王子駅、田端運転所、西日暮里駅(委)、上中里駅(委)

大田営業統括センター→蒲田駅、大森駅

大崎営業統括センター→大崎駅、目黒駅、五反田駅(委)

渋谷営業統括センター→渋谷駅、原宿駅、代々木駅、千駄ヶ谷駅、信濃町駅、四ツ谷駅、恵比寿駅(委)

御茶ノ水営業統括センター→御茶ノ水駅、神田駅、水道橋駅、市ヶ谷駅、秋葉原駅(委)、飯田橋駅(委)、新日本橋駅(委)、馬喰町駅(委)

北千住営業統括センター→北千住駅、三河島駅、亀有駅、南千住駅(委)、亀有駅

柏営業統括センター→柏駅、我孫子駅、取手駅、南柏駅(委)、北柏駅(委)、天王台駅(委)

※(委)…委託駅

<追加の説明内容・質問事項>

・御茶ノ水営業統括センター、渋谷営業統括センターを除く箇所(日暮里駅、蒲田駅、大崎駅、神田駅、水道橋駅、北千住駅、柏駅)において、企画サービス業務を見直す。渋谷営業統括センターは通対やイベント対応でテンポラリースタッフが多いため、企画サービスを配置した。

・営業体制の見直し…田端統括センターにおいて、分任業務や終電対応を泊り体制でおこなっているが、泊から日勤の変形業務に変更する。日勤+日勤に分割し、統括センター各箇所の業務と融合を図っていく。統括センターの各箇所の日勤業務と田端駅の日勤業務を組み合わせで行う。田端運転所の乗務員が乗務終了後に田端駅の終電対応を行うことも想定している。交代業務を日勤+日勤で行うことも想定している。田端駅に来た田端運転所の乗務員の泊地は検討中。防犯対策なども検討すべき。

・管理体制の見直しとして、田端統括センター・尾久駅の営業副長・田端運転所の副長、御茶ノ水営業統括センター・水道橋駅の営業副長を見直す。

・統括センターの施策実施に向けて体験やトライアルをいち早く担ってきた社員や管理者に異動が発生している。その異動が本人希望でないならばモチベーションが下がらないか。施策実施の上で大前提であるやる気や納得感が喪失しないか。

・深夜帯のフレックス制度の導入は現時点ではないが、将来的には働き方改革の一環としては検討をすることを否定するものではない。

・田端統括センター傘下の現業機関は特殊な取り扱いを行う箇所が多い。尾久駅構内の誘導業務は養成に3か月程度かかる。養成はしっかりおこなっていく。

・渋谷営業統括センターは規模が大きい。箇所間の見習養成については不安の無いように丁寧に行っていく。